

さわがせ

号数 第 3 4 8 号
発行日 令和 7 年 3 月 9 日
発行所 金光教 韮 教会
〒 550-0011
大阪市西区阿波座 2-2-10
TEL&FAX 06(6541) 6313
mail: utubo1905@gmail.com



恒例豆まき & もちつき大会が開催されました (2月2日)

信仰心は幼少の頃より

教会長 鍵山 公 生

3月と9月は霊祭をお仕えする時期ということになっていますが、皆様のお宅ではいかがなさっておられるでしょうか。

ある方が、自宅で先祖祭りをお仕えした後、「子供たちがこのように先祖を始め、自分たちの御霊祭りをしてくれるでしょうか。」と仰いました。その時はすぐ簡潔なお応えはできませんでした。

その方の場合、両親が教会の先生を自宅にお迎えし、先祖の霊祭をお仕えして来られました。そして自分も同じように親の御霊祭りを行ってきたのですが、自分の子供の代になってからも、同じようにしてくれるかなと心配されたのでしょうか。それは先ほどお仕えしたお祭りの場に子供たちが来ていなかったことを思い返し、ふと我に返って感じられたのではないかと思います。

それは子供や孫を教会に連れて参拝したり、御霊祭りに呼び寄せて、共に拝礼



する体験をさせていけば、自然と信心ごころも身に付いてくると思うのです。

親が取り越し苦労をして「先祖のお祭りに幼児が集まると他の人に迷惑になるとか、子供は退屈するだろうから、そのような場に行かない方がいいだろう」と考え、出席させなかったのではないかと思われるのです。大変なようでも、子供なりに目で見て、体で覚えていくもので、できる限り体験させてあげることが大切だと思うのです。

私は幼少の時から朝食をいただくとうちの机の前に座ったとき、横から父が、「神さんにお礼してきたか！」と言って手を合わせてくるまで食事はいただけませんでした。

私の父は厳格な人でしたから、家でのしつけは厳しく教えられ、朝にはまず神様に拝礼するものだというのを教えていたのでしょう。そこで私も自分の子供たちにも神様の有り難いことを伝えたいと思い、長女が小学校に入学する頃から毎日夜7時に、家族共々に御祈念をさせていただくことにしました。そして御祈念後はわずかの間ですが、金光様のみおしえを分かりやすくお話ししてきました。

その頃、私は宅祭に出かけたり、他教会へお説教に行ったり、会合があってもその時間までには必ず帰るようにしていました。あるとき、「今日はどうしても7時に帰れないご用がある。」と子供に話したところある子が、「ああよかった、今日は御祈念がないわあ！」と言って喜ぶのです。そこで私は「お父さんがいなくても御祈念をせんといかん。お母さんと御祈念をしたらいい。」と言いました。

それから数日経つと子供たちから「7時の御祈念はいやだ」と反発の声が出てきたのです。「午後7時はテレビで子供向けの放送があり、それを見逃すと翌日の学校で、友達との会話に入れない」というのです。「そんなこと我慢しろ！」と言ったものの、ただ頭ごなしに押しえ付けたのでは気持ちよく信心が伝わらないと思い、そこで子供たちの意見も聞き入れ、御祈念を続けられないかと思案しました。

その頃丁度録画ビデオ機が発売されだした時期で、大変高価なものでしたが、子供への信心教育のために何とかできないかと神様にお願いし、小遣いをかき集めて買わせていただいたのでした。それから子供たちは、機嫌良く御祈念を続けるようになりました。続けるためには親としてもかなりの祈りと努力があったと思います。



私が小学生のあるとき、お風呂場からパン、パンと拍手の音が聞こえてきたのです。耳を澄まして様子を伺うと、父が入浴するときに湯船に向かってお礼をしていたのでした。そのことを自分ながらに、「ははーんお

風呂に入るときは神様にお礼して入るのだな」と感じました。それから私もまねをするようになったのです。

そのように子供に無理矢理に強制するだけではなく、自分自身が実行して教えることが効果的だと感じるようになったのです。

現在はその子供たちはそれぞれに成長して結婚もさせていただき、祭典の奏楽奉仕をさせていただける者や、お装束を着けてご奉仕させていただく者。そして輔教となって大祭に装束を着けたり、結婚した連れ合いも誘って快く家族共々月例祭にも参拝ができるようになり、ぼちぼち信心の道を歩ませていただいておりますことは、誠にありがたいことと神様に御礼申し上げます。

以前そのことをある信奉者に話すと、「それは教会だからこそ出来るんですわな」と言われましたが、「教会の家族も、信奉者のご家庭も同じですよ。神様の氏子に変わりはありませんからね。」と話したのです。

「信心は家内に不和のなきが元なり」。

「信心は家内中、勢を揃えて信心をせよ」。

とお教えくださっています。そのようにお道の信心に適った生き方を求め、何事も無理なく、みんなが快く信心の道を歩いて参りたいものです。そこで信心のことで、ほんの少しでも家族の間にもめ事があっても、「あいよかけよで立ちゆく道」を求め、子々孫々にこの素晴らしい歩み方を求めてまいりたいと願っています。

訃 報



韃教会の責任役員、松山護様は、去る令和7年2月13日、93歳にてご帰幽になられました。

松山護様は戦争の混乱期より働き、両親や姉妹の生活を支えておられました。また、車のラジオや、無線機の会社を起ち上げられ、北海道から沖縄まで販売に出かけておられました。また和田こゆみ先生の頃から、仕事の帰りに教会へ参拝をされては、商売繁盛や身の上のことなどを、どのようなことでもお取次ぎを頂かれ、おかげを蒙ってこられました。

告別式は、2月19日に韃教会において、教会長先生ご祭主の元、厳かにお仕えになられました。

ここに哀悼の意を表し、慎みて皆様にお伝え申し上げます。

月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして
ご慰霊させていただきます。

ご都合お繰り合わせをただかれ、ご参拝下さい。

(3月9日、4月20日、午前10時30分より)

令和7年3月

- 9日(日) 月例祭並びに月例霊祭執行
午前10時30分
- 15日(土) ご本部月参拝 午前6時教会出発
- 21日(金) 信徒共励会 午前10時
- 23日(日) 春季霊祭執行 午前10時30分
- 30日(日) 春の合同墓前祭 午前10時
瓜破霊園にて



4月

- 1日(火) 月例祭執行
午前10時30分
- 6日(日) ご本部 天地金乃神大祭参拝
新大阪駅午前8時30分集合
- 12日(土) うりわり墓参 午前7時
- 13日(日) 月例祭並びに勸学祭執行
午前10時30分
- 18日(金) 信徒共励会 午前10時
- 20日(日) 月例霊祭執行 午前10時30分

5月

- 1日(木) 月例祭執行
午前10時30分
- 3日(祝) 大祭準備大掃除 午前10時
- 4日(日) うりわり墓参 午前7時

5月11日(日) 午前10時30分より

天地金乃神大祭奉行

祭典後説教：大阪府連盟布教部講師

道の子「アイススケート大会」に参加

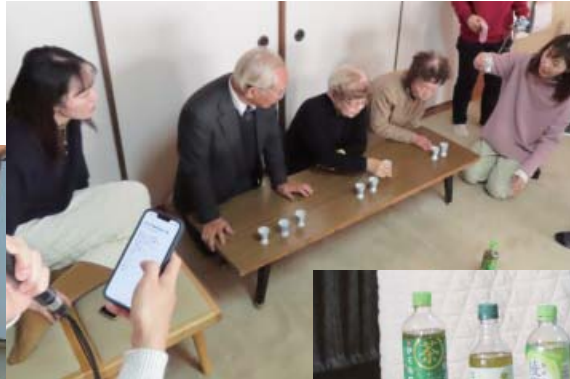
2月24日、中近畿教区少年少女会主催の道の子アイススケート大会に
当教会から3名が参加しました。



**信徒会総会
新年会開催
1月12日**

初月例祭後、信徒会総会が行われ、信徒会長のあいさつの後、令和6年の決算報告がありました。総会閉会后、お広前において、新年会が開催され、青年信奉者による、ゲーム大会が行われました。

逆けん玉ゲーム
玉をけんだまの棒に入れるゲーム↓



↑利き茶ゲーム

節分豆まき & もちつき大会開催

2月2日、雨も上がり、太陽の光がのぞく中、広前では節分の豆まき、境内ではもちつき大会が行われました。



広前にて節分豆まき
(豆も飴やチョコも)
←



みんなで力いっぱいお餅をつきました

